**平成29年度第２回鎌倉市健康づくり計画推進委員会**

日時：平成29年８月21日（月）午後７時～９時

場所：鎌倉市役所　第３分庁舎　講堂

出席者：委員12人、幹事７人、事務局８人

欠席者：３人（加藤委員、小原委員、桃澤委員）

傍聴者：１人

**■開会**

　委員15人のうち、欠席３人にて過半数超えのため、本推進委員会条例施行規則第3条

第2項の規定により、委員会は成立している旨説明があった。

　傍聴希望者が１名おり、資料の提供について承認された。

**■議事**

議事に入る前に事務局から、配布資料の確認、前回の議事要旨について説明があった。

また、前回の委員会後に実施に向けて検討を進め、高校生や地域住民を対象とした健康教育を新たに実施できることになったこと、小学校での｢はやね・はやおき・あさごはん｣の推進や健康づくり10か条の推進については引き続き調整が必要であることが報告された。

本日の委員会では、「「家族で歩こう！健康かまくらマップ」大船地区及び腰越地区の作成」及び「鎌人いち場での健康づくりフェスタ開催」について、協議を行うこととした。

**議題１　「家族で歩こう！健康かまくらマップ」大船地区及び腰越地区の作成について**

**事務局からの説明**

今年度、身体活動・運動分野の具体的な取組みとして、｢家族で歩こう！健康かまくらマップ｣の大船地区及び腰越地区を作成する。昨年度は鎌倉・玉縄・深沢の３地区を作成したので、今年度は大船・腰越地区を作成する予定である。目的は昨年度に引き続き、青壮年期をターゲットに、子どもと保護者が一緒に歩くことで、ウォーキングの良さや大切さを感じてもらい、意識的に歩く習慣を身に付けることとする。ターゲットは青壮年期だが、３歳児くらいから小学生とその保護者が一緒に楽しく歩くことができるレベルを想定している。

　作成数は各地区10,000枚、計20,000枚である。ウォーキングルートは、大船地区は大船駅周辺から今泉周辺までで調整中である。腰越地区は鎌倉歩け歩け協会さんにご協力をいただき、３ルートご提供いただいている。このルートをベースに、現地確認等を行いながら調整をしていく予定である。

ウォーキングルートの他、ウォーキングを通して自分自身の活動量を知ってもらい、将来的にはウォーキングイベントへの参加、自分でアプリを活用しての継続を促す内容を盛り込む。配布先は市の施設や保育園・幼稚園、健康づくりイベント等を考えている。

**委員長**何かご意見はあるか。

**委員**　参加予定人数はどのくらいか。

**事務局**　定員を親子での参加で各回15組とした。午前・午後と２回実施する予定である。

**委員**　距離・時間はどのくらいなのか。3歳児に合わせた内容とするのか。

**事務局**　休憩も含めて1時間程度である。由比ガ浜の海浜公園から坂ノ下あたりまで行って折り返すルートである。

**委員**　昨年度は完歩した方に缶バッチ等の景品をあげていたと思う。今年はルートが広町緑地の方になるが、どのように完歩したかを確認するのか。

**事務局**　ウォーキングイベントは昨年と変わらずに鎌人いち場を拠点にする。

**委員**　イベント当日主催者と一緒に歩くのか。それとも個人で自由に歩いてもらうのか。

**事務局**　主催者と一緒に歩くようになる。

**委員**　マップの効果として歩いた人数などの記録も必要ではないか。

**事務局**　マップは配付数をカウントしている。その後ご自身で活用していただくようになるが、その記録などは今のところ考えていない。

**委員**　15組一斉に歩くのか。午前と午後合わせて30組が歩くということか。

**事務局**　その通りである。

**委員**　申し込み人数は定員と比べてどうか。

**事務局**　昨年度は周知不足のため定員に満たなかったが、今年は定員に達するように周知などを行いたい。列になること、親子連れであることなどから安全面に考慮してこの定員に設定した。

**委員**　イベント参加中に具合が悪くなった方、怪我をした方への対応はどのように考えているのか。

**事務局**　最低限の救急用品は持参する。保健師を含めたスタッフが十分な人数で一緒に歩いているので、その中で対応する。

**委員**　AEDの持ち歩きは考えているか。どこにAEDがあるかは当然わかるのだろうが、すぐにとりにいける体制ではないと思う。高齢者の参加など万が一の場合も考えておくべきである。

**事務局**　ルート上のAEDの設置場所を確認してからイベントに臨みたい。

**委員**　設置場所をイベント参加者にも知らせるべきである。

**事務局**　そのようにさせていただきたい。

**議題２　鎌人いち場での健康づくりフェスタ開催について**

**事務局からの説明**

10月22日（日）に開催される鎌人いち場の「知る場」のブースに健康づくりフェスタ（鎌倉市）として出展予定である。内容は、ウォーキングマップの配布や、ウォーキング実践イベント、健康づくり計画の配布、足指力測定、特定健診や健幸スタンプラリーの周知等とする予定である。

**委員長**　何かご意見はあるか。

**委員**　質疑応答なし

**議題３　ア　ICT活用健康づくり事業について**

**事務局からの説明**

ICT活用健康づくり事業は、第３期基本計画後期実施計画の重点事業計画に採択されており、健康づくりに関するアプリと専用WEBサイトを導入し、健康づくりに関するポイント制度を構築して、市民の健康づくりを推進しようとするものである。概要は、インセンティブとして、ウォーキング等によりポイントを付与し、貯まったポイントを景品等と交換できる機能の他、自身の健康管理ができる機能や市からの健康に関する情報の発信ができる機能を持たせたものを検討している。

　また、鎌倉歩け歩け協会が作成しているウォーキングコースの表示や、市内の企業等にも参加してもらい、企業単位でランキングを競うことができるようにする等、楽しみながら、多くの市民に活用してもらえるものにしたいと考えており、今年度中の完成を目指して準備を進めている。

**委員**マイME-BYOカルテとの連携はないのか。

**事務局**直接アプリの中では連携しない予定である。

**委員**先ほどのウォーキングマップについては連携するのにも関わらず、ICT活用健康づくり事業では連携しないというのは、矛盾しないのか。

**事務局**本来であればICT活用健康づくり事業とも連携できるとよかったのだが、時期的に間に合わず、マイME-BYOカルテと連携しているウォーキングアプリの中に、鎌倉市のウォーキングマップが連携されているというところまでにとどまっている。

**委員**　インセンティブはどのようなものを考えているのか。

**事務局**　まだ、未確定であるが、ふるさと納税の景品となっているようなものや、クーポン券のようなものを考えている。

**委員**　個人情報は収集するのか。個人情報の提供については同意を得るのか。

**事務局**　インセンティブをお渡しする関係で、個人情報は取り扱うようになる。

**委員**　今後、県のアプリなどとリンクするとなるとどうなるのかが心配である。

**事務局**　業者を選定する際に個人情報の取り決めは行う。いずれは医療費の分析をしたいと思っているが個人情報の問題があり、課題となっている。

**委員**　県で実施しているのに、あえて市で行うのであれば、独自性を出していく必要がある。費用対効果を考えたほうが良い。

**事務局**　そこは事務局でも課題と考えている。なるべく市民が使いやすいものを作っていきたいと考えている。

**委員**　市だけで行うのではなく、検証までできる業者を選定して行ってみてはどうか。

**委員**　検証は絶対必要である。

**事務局**　検証については様々な業者から情報を得て仕様を固めていきたい。

**委員**　県が行っている未病は産業振興の観点が入っている。高齢者が健康になるだけでなく、健康に働けることまでを目標として行ってほしい。

**委員**スマホを使わない人もいると思うが、どのくらいの人を対象としているのか。紙で行う予定はないのか。

**委員**　今泉台地区を対象としたウォーキングの事業を実施した。その事業では、ウォーキングカレンダーを付けることを行っている。スマホは必要ない。2か月毎に歩いて継続している。70～80代で外出頻度の少ない人にどのようにアプローチしていくかが問題である。

**事務局**　スマホが主体ではあるが、持っていない人には活動量計を使用できる仕組みづくりも検討している。ターゲットは青壮年期の働いていて講座などに参加しにくい世代を考えている。

**委員**　どの企業も働き方改革を行っている。ある企業では全員同じ時間に帰ることを実践している。それ以降の時間をどう活用するかに関わってくる。

**委員**　個人を対象にするだけでなく、ＳＮＳのような形で｢ここの景色がすばらしい｣などという体験型の情報提供も行えるような独自の情報発信のものにした方がいいのではないかと考える。

**事務局**　使っている人の中で情報交換をしたりする仕組みづくりも考えていた。業者との打合せの中で、できる業者とできない業者がある。プロポーザルでは、内容と個人情報と金額とを考慮して選定していく。

**委員長**　引き続き検討が必要である。

**議題３　イ　未病センターについて**

**事務局からの説明**

鎌倉市で、今年度中に未病センターを設置することになった。神奈川県では、手軽に健康状態や体力等をチェックし、「見える化」することができ、その結果に基づくアドバイスや「未病改善」の取組みのための情報提供を受けられる場として、未病センターの設置を進めている。

　未病センター認証の必須条件は、測定ができること、保健師・栄養士等の専門職による相談ができること、健康に関する情報提供がされていることである。鎌倉市では、福祉センター（現在子育て支援センター事務所があるスペース）に設置をする予定で、平成30年１月ごろのオープンを目指している。主な事業内容は、各種測定（身長・体重・骨密度・血管年齢・肺年齢・血圧・貧血・ストレス等がわかる機械の設置）、保健師・栄養士による相談、パンフレット配布等の情報提供とする。いずれは、ミニ講座の開催なども、取り入れていく予定である。

　今後、未病センター周知のためのパンフレット作成を予定しており、この中に、これまでにご検討いただいている「かまくら健康づくり10か条」を盛り込むことなども考えていきたい。

**委員**　ぜひ１か所の設置だけでなく、市内を巡回できるような形にしてほしい。

**事務局**　未病センターには条件もある。現在の健康づくり応援団を、可能な限り出張型の未病センターとして機能させていきたいと考えている。

**委員長**　例えばスーパーで定期的に実施するなども可能なのか。

**事務局**県の認証を得るためには、場所は１か所に定めなければならない。しかし、センターの開所時間外に機械を持ち出し、出張型として様々な所で行うことは可能と考えている。また、民間の設置も可能なので、将来的には市だけでなく、民間企業においても未病センターの設置をしていただけたらと考えている。

**委員**　機械はリースするのか。購入するのか。

**事務局**　購入する。

**委員**　鎌倉体育館にも機械はあるが、どこに設置するのか。

**事務局**　設置自体は福祉センターである。

**委員長**　福祉センターで人が来るかが懸念される。出張をしていってほしい。市役所内などは難しいのか。

**事務局**　市役所内の設置はスペースの都合上難しかった。

**委員**　市民健康課では現在も地区を回っていると思うが、それはなくなるのか。

**事務局**　引き続き健康づくり応援団は実施していく。

**委員**　企業で強みをもっているところもある。市だけでなく企業にも協力してもらい、委託をして進めていくことも考えたほうがよいと思う。

**委員**　地域包括支援センターにも計測ができる職員がいると思うが周知はしているのか。

**委員**地区ごとに包括支援センターの職員にイベントに来て健康啓発や血圧測定などをしてくれている。

**事務局からの説明**

健康づくり事業の展開について、２点報告した。

　１点目、本委員会の委員の、大船カトリック幼稚園の丸山園長先生にご協力をいただき、育児中の世代の男性を対象にした健康教育を実施した。同園の「家族保育参加日」に来園した約100名の保護者を対象に、肩こり予防ストレッチや子どもと楽しめる「100ある体操」の紹介をさせていただいた。市側の反省点として、時間配分や講座の内容に配慮が欠けている点があった。引き続き少しずつでも、忙しい育児中の保護者の方との接点を持ち、ご自身の健康づくりに目を向けていただく機会を作っていけるように、内容の見直しを行いながら実施したいと考えている。

　２点目は、㈱日本郵便と協力した、啓発はがきの配達についてである。

　公的機関が発信する情報に協賛する企業が、かもめ～るはがきの印刷費用等を出資し、郵便局員が配達する、３者の協力により提供される「かもめタウン」事業を行った。

　この啓発はがきの中に「鎌倉市健康づくり計画」についても掲載し、各家庭に配達する。本日ご出席いただいていますモモイ歯科医院様をはじめ、14社からの協賛があり、市内2,415戸へ、本日から順次配達している。

**委員**　鎌倉市内の幼稚園は私立しかないため、園児・保護者が市と接する機会が少ない。園児・保護者との道筋になればと思って引き受けた。体操の内容は概ね良かったが、親子で実施したかったというのが率直な感想であった。以前、５歳児すこやか相談を実施する際も周知には時間がかかった。同様に今後も継続していくことが大切ではないかと考える。

**委員**　どのような課題があったのか。

**委員**　目的を事前に伝えることが必要であった。また年少児のことも考慮し、親子でできる内容でできればよかったと考える。

**■閉会**

**委員長**　議題は全て終了した。今回の委員会で委員の任期が満了となる。この委員会は、アンケート調査から始まり、計画を策定し、推進が始まったところであり、この先の行方が楽しみである。鎌倉市は神奈川県の中でも健康状態がよい市である。この計画が良い指針となってくれることを願う。

次期委員に引継ぎたいことがあればご意見いただきたい。

**委員**　現在睡眠について問題があり、この先、対策をしていけると良いと思っている。また、鎌倉市の職員の残業時間が一般企業と比べてもかなり多いことが問題ともなっている。市の職員の健康状態も大切である。市民サービスが多岐に渡る中で内容の見直しも必要であり、また市民もできることは自発的に動いていかなければいけないと考える。

**委員**　時代の流れによって業務が増えている感じがする。自分たちだけで全部やるのではなく、周りを巻き込みながら事業を進めていってほしい。

**委員**　様々な立場からの活発な意見が出て、有意義な会議になったと考える。今後も明るい鎌倉市になるよう祈念している。

**委員**　前任者から引継ぎ今回初めて参加した。今後も進行管理のお役に立ちたいと考えている。

**委員**　現在仕事は退職しているが、会議の出席が多くなかなか忙しい生活である。自分の健康も気をつけていきたいと考えている。

**委員**　この会議で発言して、実現されたことが多くあり感謝している。

**委員**　良い計画ができたので、これをどんどん広げていってほしい。市だけでやるのではなく、企業等を上手く活用して、広げていってほしい。

**委員**　幼稚園でのイベントに参加した方から、市が幼稚園の健康づくりに入ってくれると安心するという意見があった。ぜひ今後も連携していきたいと考えている。

**委員**　市民に啓発していく際には｢知らない｣ということを前提に進めていかなければいけないということを感じた。また、スピード感も大切なので、お互いに協力しながら行っていきたいと考えている。

**委員**　委員長、副委員長の知識が幅広く、有意義な会議を行うことができたと感じている。今後も連携しながら、推進していきたいと考える。

**委員長**　これにて閉会とする。

以上